

日本漢文資料 楽書篇

声明資料集

二松学舎大学21世紀COEプログラム「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」

《論考篇》

上野学園日本音楽資料室について	福島和夫	1
上野学園日本音楽資料室蔵の声明史料について	新井弘順	2
講式とは何か	ニールス・グュルベルク	30
『二尊講略式』について——慧仁(仁空実導)二尊信仰の一解——	高橋秀城	41

《資料篇》

伽陀集(翻刻)	福島和夫・田中幸江	
神奈川県立金沢文庫蔵『聖宣本伽陀集』		51
『諸經要文伽陀集』		57
『〔舍利講伽陀 第二日〕』		73
『〔舍利講伽陀集〕』		73
大原勝林院蔵・覚秀集・魚山叢書		
眼之首(甲)第二『伽陀集』		80
舌之首 第六十八『伽陀集』、『伽陀口伝』、『手本伽陀』二点		86
第六十九『伽陀集』		91
第七十『伽陀集』		99
講式翻刻・注釈		
『大黒講式』注釈	ニールス・グュルベルク	116
『二尊講略式』翻刻・注釈	高橋秀城	125

関係史料翻刻・解題

東京大学史料編纂所蔵『連々令稽古双紙以下之事』翻刻・解題	高橋秀城	133
------------------------------	------	-----

《解題目録篇》

別置文庫 金田一春彦博士収集声明史料について	福島和夫	137
『四座講式の研究』と金田一春彦博士により収集された講式資料	ニールス・グュルベルク	139
上野学園日本音楽資料室史料目録		

声明史料目録

講式関係史料(別置・金田一春彦博士収集声明史料を含む)	田中幸江編	
講式関係史料目録		153
講式関係史料一覧		159
講式関係史料解題目録(稿)		162
講式各段式文初句並びに伽陀各句一覧表	高橋秀城・田中幸江	225
講式について	福島和夫	292
四座講式の江戸期版行の諸本について	福島和夫	294
(上野学園日本音楽資料室特別展観目録より再録)		
四座講式寛永版・同覆刻版について	福島和夫	296

《伽陀索引》

伽陀集所収伽陀索引	田中幸江編 (1)	
-----------	-----------	--

執筆者一覧・編集後記

執筆・協力者一覧

編集後記

執筆者
福島 和夫 上野学園日本音楽資料室室長/
COE研究協力者
新井 弘順 上野学園日本音楽資料室研究員/
COE研究協力者
二ールス・グュルベルク

高橋 秀城 上野学園日本音楽資料室所蔵漢文史料の調査を中心として進められた。上野学園日本音楽資料室は、日本音楽の分野における最大の史料収集施設であるが、その所蔵史料については『図書総目録』に未採録であったから、その史料の目録化と公開が待望されていた。

そこで今回、二松学舎大学COEプログラムの四本柱のうちの「データベースの構築」「若手研究者や文献専門技能者の育成」に連動する形で、上野学園日本音楽資料室の全面的な協力のもと、二松学舎大学助手・大学院生、他大学の大学院生等によって所蔵史料の調査を行うとともに、共同研究・個別研究を進めた。この三冊は、その成果の最初の結実である。

本書、声明資料篇に関しては、COE研究協力者である上野学園日本音楽資料室福島和夫室長に企画の段階から数々のご教示を賜った。ここに深謝の意を表したい。
また、COE研究協力者の新井弘順氏、二ールス・グュルベルク氏、高橋秀城氏に、玉稿をお寄せいただき、資料集がより充実したものとなつた。感謝申し上げたい。

なお、声明資料の書誌調査は、佐藤等、井黒佳穂子の両氏に負うところが大きい。特に佐藤等氏には、最終的な確認作業に至るまでご協力いただいた。深く感謝申し上げる。

『藤原通憲資料集』を教訓に、誤植・誤表記を起こさぬよう気を配つたが、徹底することできなかつた。表記の誤り等の責任はすべて編集担当の田中にある。(ご寛恕賜りたい。

(田中幸江)

日本漢文資料 楽書篇

「声明資料集」

二松学舎大学21世紀COEプログラム「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」

2006年3月31日発行 (非売品)

編 集 二松学舎大学21世紀COEプログラム中世日本漢文班 田中幸江

発 行 二松学舎大学21世紀COEプログラム

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16 <http://www.nishogakusha-coe.net.jp/>

Tel: (03) 3261-3535 Fax: (03) 3261-3536 coejmu@nishogakusha-u.ac.jp

印 刷 東京都中央区漆2-8-7 株式会社 ディグ